

平成 25 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	サンフレンドうずら・児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市中鷲7丁目58番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,625,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:2,037.00㎡ ◇延床面積:676.81㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障害者センターと合築で事務室ほか共用部分あり		

●利用状況

		H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	22,447	19,993	22,695	17,353	15,893
	移動児童館利用者数	710	908	697	690	606
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	10	15	12	13	12
	開館日数(単位:日)	156	151	157	152	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、正職員(児童厚生員2名)、嘱託職員(児童厚生員・体育指導員)、常勤パートタイマー1名(児童厚生員) ③広報誌の毎月発行配布、利用者用パンフレット作成配布、児童センター近辺の新しい住宅への訪問パンフレット配布、児童館ホームページ、職員ブログの更新 ふりあネット活用 ④苦情・クレーム無し。利用者の要望を理解し運営。利用者アンケートの実施と結果の掲示(情報開示の徹底)
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②おもちゃの消毒、玩具・遊具の毎月の定期点検実施 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節水節電を実施。古紙、ダンボール、ペットボトルなどの使用を促進リユースに努めた
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 不審情報の広報 避難訓練の月2回実施 危機マニュアルの徹底

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成25年7月9日～19日 幼児クラブ参加の母親164人にアンケートを実施。回答者数121人(回収率73%)
利用者アンケートの実施結果	○幼児クラブに参加して 良かった・楽しかった120人、その他1人 ○意見 ・集団の中で遊ぶ経験ができて良かった。・毎週通うのが楽しみで生活にメリハリができた。 ・友達ができ、嬉しかった。・周りの子を見て刺激をもらって親子共に成長できた。 ・お母さん同士の交流がもった良かった。・子どもの笑顔や一生懸命やっている姿をみれて嬉しかった。 ・内容が充実していて良かった。 ○職員の対応 良かった118人、その他3人 ○意見 ・下の子を見てもらえて嬉しかった。・声が聞こえづらかったのでマイクを使用してほしい。 ・細かいところまで気にかけてくれて嬉しかった。
利用者からの要望・苦情と対応・改善	児童センター全体について ① 幼児室などのおもちゃについて要望はありますか ・たまに電車など電池が切れているものがある 回答 毎朝電池の確認をしておりますが、使われて失くなった場合はお申し出ください ・2階の人形がもう少し綺麗だと嬉しい 回答 洗っていますが古くなった物は入れ替えます ・知育のおもちゃ(積み木など)を増やしてほしい 回答 全体の数はスペースの関係で無理ですが、新しい物と入れ替えます ・おもちゃの消毒とかはされていますか 回答 毎週木曜日に全ての玩具の消毒をしています ・ブラレールのつなぎ方の見本がほしい 回答 お子さんの発想で自由に作るのがブラレールの良いところだと思いますのでお母さんも一緒になって作ってください ② センター内の設備についてご意見をお聞かせください ・一階にオムツ交換所がほしい 回答 1階にベビーベットを置くスペースがないので2階でお願いします ・3輪車置き場があると嬉しい 回答 自転車置き場に置いていただきたいのですが、 ・ウルトラレーナーを直してほしい 回答 古い型で今業者と検討中です もうしばらくおまちください ・小さい子用の洋式トイレを設置してほしい 回答 今年度中に2階に設置します。しばらくおまちください ・幼児室がもう少し広いと遊びやすい 回答 全体のスペースから他の部屋に移すことは無理です 申し訳ありません 3. その他の意見 ・パパさんクラブをやってほしい 回答 不定期に開催しておりますのでぜひご参加ください ・駐車場が少ない・場所によっては出にくい 回答 ご迷惑をおかけしておりますが、これ以上上げることはできません ・外に遊具を設置してほしい(鉄棒・砂場など) 回答 検討します ・幼児室に小学生など大きい子が入ってくることもある 回答 小学生には日頃から注意していますが、もし入っていたら職員に教えてください ・ボールプールの常設 回答 ボールプールは衛生上、定期的にクリーニングしたり、ボールを洗っております。その間、一時的にない場合がありますのでご理解いただけるとありがたいです

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	S	S
		区分評価			S	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものである	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A

	こと	区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
	区分評価			A		
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
区分評価			S			

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>内容を深め、事業数を増やすことで利用しやすい環境を整えた</p> <ul style="list-style-type: none"> □上半期22447名一日平均144名の利用 □児童向け事業168回 子育て支援事業105回 合計273回実施し、延べ3425名参加 □子どもたちの意見を事業に反映すると共に、子どもたちが児童館運営に積極的に参加する機会を増やした。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちからの発案、提案による行事の実施 104回 □子育て支援事業を毎日行い、子育て環境整備、子育て不安軽減に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者対象の登録制教室を週10クラブ実施 延べ350組が登録、延べ1523名参加 □幼児と保護者の昼食の場所を確保(火曜日～金曜日 午後12時～13時 図書学習室) <ul style="list-style-type: none"> ・130人が利用 <p>地域の子育て力を上げる取組みを進めた</p> <ul style="list-style-type: none"> □移動児童館を積極的に進め公平な利用に努めた 8回実施 □地域での母親クラブ活動 50回実施(読み聞かせ、人形劇等) □地域を巻き込んだ行事を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・鶯地区の桜祭りに児童、ボランティアがケン玉ショーで参加 □若いボランティアの活動の場を提供し、次世代の地域の担い手育成に努めた <ul style="list-style-type: none"> ・児童のときから利用していた地域の大学生、社会人11名がボランティアとして登録 各事業で活動 <p>要支援児童への取組みを充実</p> <ul style="list-style-type: none"> □要支援、要保護児童への取組みを強化し、支援と予防に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、保護者からの相談22件、虐待通告1件、虐待ケース検討会2回参加、不登校、発達、性 等 □発達、相談に関するセンター内研修を6回開催 □要支援児童に関して職員間ケース検討は随時実施 職員間で共有 □主任児童委員、小中学校、児相ケースワーカー、保護者と頻りに連絡を取り状況を共有
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> □岐阜市社会福祉事業団内の独自研修5回、所長会6回で、ノウハウ、情報の共有化、課題への対処や意思統一などを行った。 □ぶりあネット、岐阜市社会福祉事業団のHPの円滑な活用ができるようになり、うずら児童センターのHP、ブログに加え、ネットを利用した広報活動の幅が広がった。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> □予算、職員数に限りがある中、児童センターの目的を達成し、事業をより発展させるために <ul style="list-style-type: none"> ・母親クラブ、保護者、大学生、社会人等のボランティアの育成と協力 ・地域の公共施設、NPO、サークルとの有機的連携などのマンパワー活用に力を入れ、児童センター事業の充実と地域の子育て力向上により貢献できる体制を引き続き整えていく。 ・中高校生の相談、支援が不登校、引きこもり、性という問題が出てきており、青少年・若者支援をしているNPOと連携し、支援の専門性を強化していきたい。(NPOの会合に職員が参加開始) □子ども委員会の創設 <ul style="list-style-type: none"> これまでの取組みの上に小学生～高校生の子ども委員会を年間を通して設置し、より子どもたちの意見が事業に反映できるようにする。 □急激な気象変化一豪雨、竜巻などに対して来館している児童の安全を図る方策を緊急に確立する必要がある <ul style="list-style-type: none"> ・児童の連絡先を確保するための手段 ・館内での避難箇所確定と訓練

●所管課の意見

情報公開としては運営委員会の意見、要望を館内に掲示し、広報活動としては広報誌を設置校区児童800人に毎月配布した。また、子育て支援パンフレットの作成・配布、ホームページやブログの週1更新を行った。アクセス数も多い。

幼児クラブなどの子育て支援事業を毎日行っており、子育て環境の整備や子育て不安の軽減に積極的に取り組んだ。

事業数を増やしたり、新規事業を実施するなど遊び・スポーツを通して児童の育成事業にも力をいれた。地域組織活動支援として、母親クラブの育成に努めた。児童の意見を取り入れた行事の実施やボランティアの育成・活用にも積極的である。

職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。

また地域における支援や見守りを必要とする児童の現状について情報交換をしたり、各機関と連携をとりあうなど力を入れている。子どもに関する不登校、引きこもり、虐待等の問題への取組にも積極的である。

地元との交流や地域の自治会行事にも参加したり、不審者情報を小中学校と共有するなど地域との協力関係を確立している。

●指定管理者評価委員会の意見

事業運営は活性化されており、施設間での競争意識も働いて良い結果が出ている。今後も他施設との情報の共有・交換を積極的に行っていただきたい。

子育て支援に対する社会の要望をきちんと把握し、うまく活動に取り入れている。目的や方向付けが明確で、それに沿った内容で事業に取り組んでいる。

ブログ等のインターネットを利用した広報は大変効果があり、引き続き活用していくと良い。

適正に管理運営されており、良好と認められる。